

生駒市議会：基本条例、審議進まず 全会一致こだわり

毎日新聞 2013年07月30日 地方版

生駒市議会は12日と24日の全員協議会で、9月議会で制定を目指す議会基本条例に関して議論した。しかし、当初目指した全会一致での制定に対し、「場合によっては多数決もやむなし」の意見が一部会派から出たため、内容の議論に進まない状況が続いている。

議会改革特別委を中心にした約2年の審議を経て、条例素案は全会一致で決定。しかし、素案への意見募集で寄せられた59人の意見や、6月議会での関連の請願審査を受け、異論が出た形だ。

全協座長の井上充生・議会運営委員長は24日の全協で「お互いに譲るところは譲り、個人のパフォーマンスにしないためにも全会一致で話を進めてきたはずだ」と不快感を露わにした。中谷尚敬議長も12日の全協で「素案づくりに携わった議員の苦労などを思うと、『多数の横暴』と言われる（口実を与える）のが口惜しい」と全会一致にこだわる考えを示している。【熊谷仁志】